

## 札幌市アイヌ施策推進計画の概要について

## 1 計画策定の背景、趣旨・目的

**計画策定の背景**

アイヌ民族は、日本列島北部周辺、とりわけ北海道の先住民族であり、独自の言語や文化を育んできました。また、古くから和人と関わりがあり、とりわけ鎌倉時代以降は交易が盛んとなりましたが、次第に和人の勢力が伸張したため、アイヌ民族は、過酷な労働等により疲弊しました。さらに明治に入り、政府の政策により和人が大規模に北海道へ移住したため、アイヌ民族は生活及び文化に深刻な打撃を受けるようになり、多数の和人移住者の中で、アイヌ民族は様々な局面で差別の対象となりました。しかしながら、アイヌの人々は、アイヌ民族の尊厳を確立するため、その社会的地位の向上と文化の保存・伝承及び発展を図る活動を、国内外で展開してきました。

平成 19 年（2007 年）に「先住民族の権利に関する国際連合宣言」が採択され、平成 20 年（2008 年）には「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が、衆参両議院の本会議で採択されたことにより、新たな政策を進める機運が高まっています。

こうした状況を踏まえ、アイヌ民族の誇りが尊重されるまちを実現することを目的とし、札幌市のアイヌ民族に関わる施策を総合的に推進するため、「札幌市アイヌ施策推進計画」を平成 22 年 9 月に策定しました。

**計画策定の趣旨・目的**

この計画は、先住民族であるアイヌ民族の誇りが尊重されるまちを実現することを目的とします。

そのためには、アイヌ民族に対する市民の理解を促進するとともに、アイヌ民族の伝統文化を保存・継承・振興し、生活に関連する施策を推進することが必要となります。

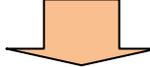
本計画では、計画期間を概ね 10 年間とし、札幌市が取り組む施策・事業について整理しました。

## 2 施策等の概要

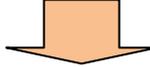
計画の策定にあたって	計画の趣旨、計画の位置付け、計画期間、策定経過
------------	-------------------------



<b>第1</b> アイヌ民族に関わる歴史的経緯	1 アイヌ民族の先住民族としての歴史
	2 近世以降の歴史的経緯



<b>第2</b> アイヌ民族の現状と最近の動き	1 アイヌ民族の生活・教育等の状況
	2 アイヌ民族の伝統文化の保存、継承、振興等 (アイヌ文化振興法と文化振興施策)
	3 アイヌ民族を取り巻く最近の動き



<b>第3</b> 札幌市が推進する施策	1 札幌市アイヌ施策推進計画の目的	アイヌ民族の誇りが尊重されるまちの実現
	2 計画の体系	
	3 施策目標と推進施策	(1) 市民理解の促進 (2) 伝統文化の保存・継承・振興 (3) 生活関連施策の推進 (4) 国の立法等の動向と関連する施策
	4 計画の推進	(1) 全庁的な推進体制 (2) 計画の進行管理等

